# 安全データシート

Dow AgroSciences

## 製品名:リクルート ™ HD

改訂 2013 年 4 月 15 日

### 1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: ノバフルムロン ベイト剤

会社名: ダウ・ケミカル日本株式会社 ダウ・アグロサイエンス事業部門

住 所: 東京都品川区東品川2丁目2番24号天王洲セントラルタワー

電話番号: 03－5460－6566 FAX番号: 03－5460－6291

メールアドレス: dasjapan@dow.com

緊急連絡先: 0120－001017

中毒に関する緊急問合せ先 : 大阪中毒110番 072－727－2499

つくば中毒110番 029－852－9999

推奨用途: シロアリ防除ベイト剤(毒餌)

### 2.危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|---|---|---|
| 人健康有害性 | 急性毒性(経口) | 区分外 |
| | 急性毒性(経皮) | 区分外 |
| | 急性毒性(吸入:粉じん) | 区分外 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分外 |
| | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分外 |
| | 皮膚感作性 | 区分外 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分外 |
| | 発がん性 | 区分外 |
| | 生殖毒性 | 区分外 |
| | 特定標的臓器(全身毒性)(単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器(全身毒性)(反復ばく露) | 分類できない |
| 環境有害性 | 水生環境急性有害性 | 区分 1 |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分 1 |

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: 水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

注意書き: 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

適切な保護眼鏡、保護衣を着用すること。

適切な個人用保護具を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

粉じんを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

眼に入った場合、多量の水で洗眼すること。コンタクトレンズは、1～2 分洗眼した後に外し、さらに洗眼を続ける。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に触れた場合、汚染した衣服を脱ぐ。接触した部位を多量の水でよく洗う。

吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動する。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

## 3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 ： 混合物

化学名（一般名） :N-[3,5-ジクロロ－2－フルオロ-4-(1,1,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロポキシ)フェニル]-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素 （ノバフルムロン）

| 成　分 | 含有量（%） | 化学式 | 官報公示整理番号 | CAS No. |
|---|---|---|---|---|
| ノバフルムロン | 0.5 | $C_{17}H_7Cl_2F_9N_2O_3$ | － | 121451-02-3 |
| セルロース | 67.6 | | － | 9004-34-6 |
| ステアリン酸カルシウム | 2.0 | | (2)－611 化審法 | 1592－23－0 |



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

4.応急処置

吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所へ移動する。

眼に入った場合: 多量の水で洗眼すること。コンタクトレンズは、1～2 分洗眼した後に外し、さらに洗眼を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に触れた場合: 接触した部位を多量の水でよく洗う。

飲み込んだ場合: 緊急の医療処置は必要ない。

5.火災時の処置

消火剤 : 噴霧放水、泡消化剤、炭酸ガス

特有の危険有害性: 本品は燃焼すると下記の有害なガス*が生成される可能性がある。

（*- 一酸化炭素、二酸化炭素）

特有の消火方法: 情報なし

消火を行う者の保護: 燃焼生成ガスに暴露されるおそれがあるときは、陽圧型自給式空気呼吸器（MSHA / NIOSH 認定品もしくは同等品）及び全面形保護衣を着用する。

注 意: 消火排水は公共下水道や河川等に流出させない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

作業に際しては適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。

作業者は適切な保護具（「8.ばく露防止装置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和: 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材: 情報なし

二次災害の防止策: 情報なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気: 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気を行う。

安全取扱い注意事項:

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉じんを吸入しないこと。
眼に入れないこと。
飲み込まないこと。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
環境への放出を避けること。

接触回避:　情報なし

保　管

技術的対策:　保管場所には、換気の設備を設ける。
混触危険物質:　情報なし
保管条件:　容器を密閉して冷乾所で保管すること。
施錠して保管すること。
食物や飼料、飲料水のそばに保管してはならない。
容器包装材料:　情報なし

環境への注意　:　漏出物および清掃回収品は、公共下水道や河川等に流出させないこと。

## 8.暴露防止および保護措置

管理濃度:　TWA値(Dow AgroSciences)　ノバフルムロン　0.1mg/$m^3$
TWA値(ACGIH)　セルロース　10mg/$m^3$
TWA値(ACGIH)　ステアリン酸カルシウム　10mg/$m^3$

許容濃度:　未設定

設備対策:　ばく露を防止するため、局所換気設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具:　防塵マスク
手の保護具:　不浸透性手袋(塩ビ製)
眼の保護具:　保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具:全面保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:類白色ベイト剤　密度:　0.0005 kg／㎥(23.1℃)　pH:　6.4(1%溶液)
オクタノール／水分配係数:　ノバフルムロン　log Pow＝6.81


®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

10.安定性及び反応性

安定性: 通常の条件下では安定

反応性: 通常の条件下では安定

危険有害な分解生成物: 燃焼より、有害なガスが生成する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性: 経口;ノバフルムロン原体(ラット)の$LD_{50}$ 値が ＞5000 mg/kg(雌雄)であったことから、区分外とした。

経皮;ノバフルムロン原体(ラット)の$LD_{50}$ 値が ＞5000 mg/kg(雌雄)であったことから、区分外とした。

吸入(粉じん);ノバフルムロン原体のラットLC50 (4時間) 値が＞5.24mg/Lに基づき、区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性: ノバフルムロン原体を用いたウサギの皮膚刺激性試験で刺激性が認められなかったことから、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性:

区分2に該当するノバフルムロン原体の含有量が、0.5%であることから、区分外とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

呼吸器感作性;データなし

皮膚感作性;ノバフルムロン原体のモルモットを用いた皮膚感作性試験の結果が陰性であったことから、区分外とした。

生殖細胞変異原性: ノバフルムロン原体の変異原性試験の結果が、陰性であったことから、区分外とした。

発がん性: 区分2に該当するノバフルムロン原体の含有量が、0.5%であることから、区分外とした。

生殖毒性: 区分2に該当するノバフルムロン原体の含有量が、0.5%であることから、区分外とした。

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):データなし

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):データなし

吸引性呼吸器有害性: データなし



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

12.環境影響情報

水生環境急性有害性: ノバフルムロン原体の$EC_{50}$・48hr(オオミジンコ)が、0.0003mg/Lであることから、毒性乗率(1000)と本剤の含有量(0.5%)をかけると、25%を超えることから、区分1とした。

水生環境慢性有害性: 急性毒性が区分1で、生物蓄積性が高いと推定される(ノバフルムロン原体 Log Pow 6.81、BCF＞3000)ことから、区分1とした。

13.廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|---|---|
| 海上規制情報 | IMOの規定に従う。 |
| 国連分類 | クラス9 |
| 国連番号 | 3077 |
| 品　　名 | 環境有害物質(固体)、n.o.s. |
| 容器等級 | Ⅲ |
| 海洋汚染物質 | 該当 |
| 航空規制情報 | ICAO／IATAの規定に従う。 |
| 国連分類 | クラス9 |
| 国連番号 | 3077 |
| 品　　名 | 環境有害物質(固体)、n.o.s. |
| 容器等級 | Ⅲ |
| 海洋汚染物質 | 該当 |

国内規制

| | |
|---|---|
| 陸上規制情報 | 該当しない |
| 海上規制情報 | 該当しない |



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

| | |
|---|---|
| 航空規制情報 | 該当しない |
| 輸送時の安全対策 | 移送時にイエローカードの保持が必要。<br>食品や飼料と一緒に輸送してはならない。<br>運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。<br>直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。 |

## 15.適用法令

該当なし

## 16.その他

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。

ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

また、本記載内容は現時点で入手できる一般情報及び自社情報に基づいて作成してありますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではなく、新しい知見によって改定されることがあります。

さらに、記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

本品（当該製品）をシロアリ防除に使用する場合、取扱説明書のとおり使用することで安全を確保することができます。



®TM: ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標